

とんぼ田んぼのイトミミズ調べ 野川自然の会

さまざまな生きものが暮らす生物資源型農法の一環として、田んぼの肥沃度を判断するため、イトミミズを指標として調査しました。およそ150～200万匹程度確認できれば土は肥えているといえます。また、田植え後の状態をモニターすることも必要と思われます。

※田んぼを4分割し、それぞれのほぼ中心地点で採集・集計したもの

※900mlペットボトル（底面積7×7≒0.005平方m 0,005×200≒1平方m）を利用

※とんぼ田んぼの規模(およそ130平方m)では、6月頃に150～200万匹程度のイトミミズが確認できれば、肥料分に富んだ環境といえます。

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実施日	2008.3.23	2009.3.22	2010.3.21	2011.3.19	2012.3.19	2013.3.24	2014.2.23	2015.2.28	2016.3.5	2017.3.26
150平方mの推定数	188500	650000	754000	656500	494000	747500	838500	712500	1020000	420000

- 2008年3月23日、とんぼ田んぼができて初めてのイトミミズ調査を実施。
- 2009年3月は、イトミミズの数が前年に比べ大幅に増えていました(約3倍)。
- 2012年3月19日は昨年と同時期と比べ16万匹減、75%の確認に留まりました。原因のひとつとして、寒さが影響していると考えられます。
- 2013年3月24日。75万匹弱まで持ち直しました。「土づくり」から始めたとんぼ田んぼ6年間の成果と思われます。
- 2014年2月23日。田んぼの面積150平方m。例年よりひと月早い調査で83万匹確認できました。土の状態は安定しているようです。（※参考：2/8、2/14に大雪）
- 2016年3月5日。田んぼの面積150平方m推定数100万匹を超えました
- 2017年3月26日、雨天と冬並みの寒さのなかで実施。420000匹と、2008年来の少なさでした、

記録まとめ：高橋 2017,3,26

